

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和6年4月18日に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、次の通り概要をお知らせします。

Ⅰ 学力面について

平岡南中学校の平均正答率は、右表に示した全国・兵庫県と比べて国語・数学ともにやや低い傾向を示しています。

特に記述式問題においては、国語の「必要な情報を要約する問題」、数学の「データの読み取り・判断の理由の説明」や「図形証明問題」の正答率がやや低い結果となっています。

令和6年度 平均正答率		
教科	兵庫県(公立)	全国(公立)
国語	58%	58.1%
数学	55%	52.5%

※文部科学省・加古川市教育委員会の方針により、各学校の正答率は公表しないこととします

《国語の成果と課題》

- ・平均正答率は、兵庫県や全国に比べてやや低かったですが、それほど大きな差はありませんでした。
 - ・『話すこと』、『聞くこと』については、全国平均を上回り、おおむね良好でした。
 - ・『書くこと』、『読むこと』については、全国平均を下回り、文章を読解したり、要約したりする問題に課題が見られました。
 - ・我が国の言語文化に関する事項(表現技法、短歌の読解、行書の特徴など)に課題が見られました。
 - ・無解答率(解答用紙に何も書かなかった割合)は、ほぼ全ての問題で兵庫県や全国を下回り、正答・誤答にかかわらず、粘り強く解答する姿勢が見受けられました。
- 朝学習で実施している「WAKARU 教室」や「協同的探究学習」の授業の成果だと考えられます。

《数学の成果と課題》

- ・平均正答率は、兵庫県や全国に比べて少し低く、特に「図形」と「データの活用」が低かったです。「図形」は授業内で苦手意識が見られたので、平均正答率が低かったと考えられます。
- ・「数と式」の領域については、平均正答率は全国に比べて少し高かったです。無解答率が低かったことから、解き方は理解できていますが、計算ミスが多かったと考えられます。
- ・ほとんどの問題における無解答率は、全国や兵庫県と比べて下回っており、問題を粘り強く解こうとする姿勢が見受けられました。朝学習で実施している「WAKARU 教室」の成果だと考えられます。

2 生徒質問用紙から

良かったところ《全国・県と比較して集計値が高かった項目》

- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に立っている
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う
- 人が困っているときは、進んで助けている
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだ
- 人の役に立つ人間になりたいと思う
- 友達関係に満足している

これからの課題《全国・県と比較して集計値が低かった項目》

- ▲1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた
- ▲1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた
- ▲将来の夢や目標を持っている
- ▲新聞を読んでいる
- ▲1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた
- ▲学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている
- ▲授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う

3 今後の取り組み

本校の生徒は優しく思いやりがあり、素直な心を持っていることが調査結果に表れています。

学校においては、男女問わず言葉を交わし合い、困っている友人やクラスメイトに手を差し伸べたり、応援の声を掛け合ったりする場面がよく見られます。また、教職員とも良好な人間関係を築いており、教科学習の内容について質問をしたり、悩み事を相談したりしている生徒の姿もよく見られます。

一方で、「新聞や読書の時間が少ない」「授業で学習したことを生かしながら自分の考えをまとめたり、次の学習や実生活に結び付けて考えたりすることを苦手と感じている」ことが結果に表れています。

以上の調査結果を受け、学校では、考えをまとめ根拠や理由を説明する活動を積極的に取り入れるとともに、知識を相互に関連付けてより深く理解できるように『わかる学力』のさらなる育成に取り組んでいるところです。引き続き家庭と学校が連携を密にしながら、学力向上はもちろんのこと、本校教育目標である「こころ豊かに 自らの力で未来を切り拓く 生徒の育成」の実現に向けて、生徒一人ひとりが自分の個性を発揮し、互いの良さを認め合い、自己肯定感・自己有用感を高められるような魅力ある学校づくりに努めていきます。

今後とも、本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。